

# 子どもたちの「学ぶ権利」の保障を！

—大正高校・泉尾高校、西淀川高校・北淀高校の統廃合に反対します—

府教委は9月5日、府立大正高校と府立泉尾高校、府立西淀川高校と府立北淀高校の統廃合案を発表しました。11月の教育委員会会議で最終決定するとしています。これは、維新の会主導でつくられた「3年連続定員割れで再編整備」の府立学校条例、府教委が策定した「2018年度までに府立、大阪市立あわせて7校程度募集停止」の再編整備計画を根拠としたものです。

しかし、これらには何の道理もありません。そもそも、子どもたちの「学ぶ権利」を保障するために設置されている公立高校で「定員割れ」が起こるのは当たり前です。それを理由に学校をつぶすなどの異常な対応は他県には見られません。しかも、大阪の府立高校は全国から突出して大規模となっており、学級定員も40人に据え置かれたままです。「少子化」でゆとりが生じるのなら、学校規模の縮小や少人数学級の実施など、教育条件の改善こそ行うべきです。学区が撤廃され偏差値による序列化がすすむ中で志願倍率の低い高校をつぶすことは、子どもたちを過酷な競争に追い込み、競争の下位に置かれた子どもたちを切り捨てることに他なりません。

府教委は、保護者や生徒・卒業生、地元住民など関係者や府民の強い反対を押し切って、府立池田北高校、府立咲洲高校の募集停止を強行しました。競争至上主義で子どもたちを傷つけ「学ぶ権利」を奪う高校つぶしをこれ以上続けることは許せません。

以上のことから、下記について強く要請します。

## 記

1. 大正高校・泉尾高校、西淀川高校・北淀高校の統廃合を行わず、4校を存続させること。
2. 「3年連続定員に満たない高校は再編整備の対象」としている府立学校条例を抜本的に見直し、高校つぶしは行わないこと。
3. 募集停止が実施された学校の教育条件を低下させず、生徒が卒業まで安心して高校生活を送れる学校環境を、府教委の責任で保障すること。

大阪府教育委員会  
教育長 向井正博 様

2016年 月 日

氏名	住所

## 【大阪の高校を守る会】

代表者：村上良一／連絡先：大阪市西淀川区佃3丁目18番1号／☎06-6379-3858